

地域の医療と健康をサポートする広報誌

ホスピタル広報 伊賀

発行者／伊賀市立上野総合市民病院

三重県伊賀市四十九町831番地 TEL. 0595-24-1111(代表) FAX. 24-2268
http://www.cgh-iga.jp/



ライガ

ライナ

2015.4.1

2号

[年4回発行]

ご自由に
お持ち帰りください



撮影：山中 美子

CONTENTS

巻頭言：伊賀市立上野総合市民病院 副院長 田中 基幹
伊賀市立上野総合市民病院 看護部長 中井 拓子

P2

へりポート完成

P3

消化器内科医師 赴任のお知らせ

P4

当院への想いと暁
循環器内科医長 宮田 和明

P5

大腸 CT 検査について
放射線科部長 田中 直

P6

第2回 栄養管理課だより
花粉症の薬 Q&A
院内託児所『バンビ』の紹介

P7

外来診療表

P8

〈新任医師紹介〉



消化器・肝臓内科
八尾隆治 医師



消化器・肝臓内科
光山俊行 医師

巻頭言

新年度のご挨拶と5階病棟再開について

新年度のご挨拶を申し上げます。市民の皆さまや近隣の先生方など多くの方々に支えられ2度目の春をここ伊賀で迎えております。

さて、今年度の上野総合市民病院は三木院長の号令のもとすでにその基盤整備を終え、飛躍の年となるべくさまざまな計画の実施が予定されております。中でも今年の大きなトピックスであります5階病棟と西館3階療養病棟再開についてご紹介をさせていただきます。

5階病棟は4月1日より地域集学治療センターとして生まれ変わります。このセンターで、手術を受けられた患者さんだけでなく他病院で治療を受けられた患者さんのがん治療継続、緩和医療や終末期医療（ターミナルケア）を紹介元や地域の先生方と連携し後方支援を中心に運用します。当センターには訪問看護部門も併設し、在宅療養後方支援病院として急変時の対応もさせていただきます。また、当院はがん診療連携推進病院を拝命しておりがんの発見から診断、手術や集学的治療（いわゆる抗癌剤や放射線治療）など将来的には最先端の医療を提供する環境整備を目指しております。すでに、肺がん、消化器がん、乳がん、泌尿器がん、婦人科がんなど集学的治療を三重大学・滋賀医科大学病院と連携し行っております。

西館3階療養病棟は急性期病棟で運用して参りましたが、4月1日より再び慢性期療養病棟として再開いたします。一般32床、トイレ付き個室8床で構成される医療型療養病棟です。

市民の皆様への医療サービスの向上のため、飛躍の年となるよう職員一同一丸となり邁進して参ります。

これからも、市民病院への皆様のご厚情とご支援をよろしくお願いいたします。



伊賀市立 上野総合市民病院 副院長 田中 基幹

一年をふりかえって

こんにちは 看護部長の中井です。

昨年4月から伊賀市立上野総合市民病院の看護部長をさせていただいております。初めて挨拶させていただきます。

看護部は、「手で触れて みて 考える看護の実践」「看護の基本に忠実で、心のこもった看護を提供します」を理念に日々のケアを提供しています。「みて」はさまざまな意味があります。「看て」「観て」「視て」「診て」そのような「みて」から考えた看護を展開しています。病院の行動目標である「笑顔でYES」に通じますが穏やかな笑顔と優しい言葉かけを意識し、患者さんの言葉に耳を傾け、より添いながら医療が進むために努めています。また患者さんの視点に立って基本的な看護ケアと個々のニーズに応じた看護を提供し、満足していただける療養生活を支援できたらと思っています。

また、教育に関しては経年別教育システムの中で、一人一人のキャリアを把握したうえで、基本をしっかりと押さえた看護展開ができるようスタッフ教育に取り組んでいます。そしてより質の高い看護を提供できますよう努力していきます。

健診センター・救急医療・地域連携室・訪問看護ステーションに加え、4月からは地域集学治療センターの開始と療養病棟の再開をさせていただくことになりました。皆さま方の信頼が得られるようメディカルスタッフと共同し、看護部一丸となって頑張っていく所存ですのでよろしくお願いいたします。



伊賀市立 上野総合市民病院 看護部長 中井 拓子

災害拠点病院ヘリポートが完成しました

平成27年3月10日、当院西側駐車場敷地内に完成したヘリポート（場外離着陸場）の完成式を開催しました。当日は朝から強風が吹き荒れ、雪も舞う悪天候でしたが、定時より岡本伊賀市長、田山伊賀市議会議員、地元自治会役員の方をお招きしてテープカットが行われ、各ご来賓のご挨拶をいただき式典を開始しました。滋賀県より記念飛来予定の生田病院のヘリの運行が懸念されましたが、天候も時間とともに回復し、多くの参列者が待ち受ける中、予定どおりヘリが無事に新ヘリポートに舞い降りました。生田病院院長生田先生を始めとするスタッフの方々がヘリから颯爽と降り立ち、生田先生からご挨拶の言葉をいただきました。また、その後、当院から滋賀医科大学附属病院へ患者を転送するという想定で患者搬送訓練を実施しました。



今回のヘリポートの竣工は、近い将来発生が危惧されている南海トラフ地震の際、当院が災害拠点病院として果たすべき役割として極めて意義深いものであり、さらに2次救急病院として重要な機能の一つでもあります。

今後さらに救急医療の充実を図り、当院の機能を高めていきたいと考えています。（院長 三木 誓雄）



5階病棟がオープンしました

5階病棟は、平成27年4月1日に急性期病棟「地域集学治療センター」として改装オープンしました。

病棟はがん患者さんの化学療法、緩和ケア、在宅療法後方支援を中心にしたがん総合医療の役割を果たすべく再編成いたしました。より一層、地域の先生方と連携をとり、がん患者さんやそのご家族の思いに寄り添う医療・ケアを実践していきます。



消化器内科医師 赴任のお知らせ 院長 三木 誓雄

4月1日より、当院に新たに2人の内科医師が常勤スタッフとして加わりました。2人とも新進気鋭の消化器内科医で、関西医科大学消化器肝臓内科から、当院に赴任されました。上部・下部消化管疾患、肝胆膵疾患の専門家で、内視鏡診断・治療から、がん集学的治療まで幅広く消化器疾患を担当していただきます。これにより当院は、消化器・肝臓内科常勤医4人体制となり充実した外来・入院診療を提供できるようになりました。以下、両医師に自己紹介していただきます。

上野総合市民病院消化器・肝臓内科では食道、胃、小腸、肝臓、胆道、膵臓のあらゆる疾患に対して、大学病院とも連携をとりながら最先端の医療を提供するとともに、市民病院として地域に密着し、患者様に寄り添い安心できる医療を行ってまいります。

上部内視鏡においては、食道癌や胃癌の早期発見、ヘリコバクターピロリ感染検査および除菌、吐血等に対して緊急止血術、早期胃癌や腺腫に対して内視鏡治療等を施行致します。下部内視鏡においても、大腸癌の早期発見、炎症性腸疾患の病気分類と治療、早期大腸癌やポリープの内視鏡治療、下血に対して緊急止血術等を施行致します。

膵胆道系疾患に対しては、内視鏡にて総胆管結石の除去やステント挿入、悪性狭窄に対するステント挿入等を行います。また、急性膵炎の治療や膵癌の早期発見にも努めます。

肝臓につきましては、B型C型肝炎に対してインターフェロンや抗ウイルス薬を用いて治療を行い、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変などの治療も行います。肝細胞癌に対しては肝動脈塞栓術等、腫瘍の位置や大きさにより放射線科の先生と協力して治療いたします。

各種消化器癌の化学療法についても外科の先生方と協力しながら施行してまいります。

消化器癌は早期発見が重要ですので、そのためになるべく苦痛の少ない内視鏡検査の実施を目指してまいります。

消化器・肝臓内科部長 八尾 隆治



はじめまして。この度4月から消化器内科医として勤務させていただき光山と申します。まず簡単に自己紹介をさせていただきます。平成16年に関西医科大学医学部を卒業し、卒業後は関西医科大学卒後臨床研修センターのスーパーローテート制度で内科、外科、救急科、小児科、精神科をまわり幅広い知識と手技を得ました。研修終了後は、学生時代から消化器疾患に興味を持っていましたので迷いなく関西医科大学消化器肝臓内科学講座に入局しました。1年間、大学病院で消化器疾患全般にわたり最先端の診断、治療を学んだ後、平成19年から奈良社会保険病院（現在大和郡山病院に改名）に出向し、4年間、一般内科、消化器内科医としての基礎を身に着けました。また上部内視鏡検査2206件、下部内視鏡検査1116件、胆膵内視鏡200件をこなすことで内視鏡技術も得ることができました。

帰向後の平成23年からは関西医科大学大学院医学研究科博士課程へと進み、消化器肝臓内科学講座で、岡崎先生のご指導のもと自己免疫性膵炎について研究しました。また研究の傍ら、大学病院の胆膵内視鏡検査にも携わり、膵癌や胆管癌、胆管結石、自己免疫性膵炎等の胆膵疾患に対する最先端の検査、治療も学びました。今後は私が習得した医療技術、知識が少しでも伊賀市における医療の一助になれるよう力いっぱい頑張りたいと考えております。また伊賀市内には常勤の消化器内科医が不足していると聞いておりますので、急性腹症や、緊急で内視鏡検査が必要な患者様がおられましたら、できるだけ迅速に対応させていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

消化器・肝臓内科医長 光山 俊行



～当院への想いと暁～

私が当院へ赴任して丸三年が経ちました。

赴任当時は救急外来から当院への入院も覚束ない状況が続いておりました。

しかし、現在では外来・入院診療ともに大変充実した診療を行っていると自負しております（下記をご参照いただければ幸甚です）。まず、循環器内科診療におきましては、平日全て循環器内科外来を開設しており、お陰様でいずれの曜日もフル稼働している状況です。入院診療におきましても心不全・不整脈・肺塞栓（深部静脈血栓症）・大動脈解離などの疾患の患者様を中心に多数診させて戴いております。幸いにも治療が奏功し軽快退院され、退院後も元気に過ごされている患者さんが本当に多いことを心より嬉しく思います。この地域における高齢化率は県内でも高いですが、それでも入院から外来を通して元気になれる方が多いことを微笑ましく思います。また、各種検査件数（心電図・心エコー・冠動脈CT・シャントPTA・心カテーテル検査・ペースメーカー植え込み術[交換術]）も増加の一途を辿り、本年（2015年）はより侵襲的なカテーテル検査を施行するための体制を整備中でございます。



また、救急診療におきましても三重大学・滋賀医科大学の先生方と連携し、迅速かつ的確な医療を提供できている次第であります。3月末にはヘリポートも完成しより円滑な救急医療体制が構築されることと思っております。さらに、本年2月には当院が日本内科学会教育関連病院に新認定されました。これにより研修医の受け入れ体制ならびに指導体制の準備を着実に進めることが可能です。これは、これまで培ってきた実績と御支援いただいた諸先生方の御蔭だと思っております。

最後になりますが、私としましては御縁あって来させていただいたこの伊賀の地、三木院長の下、可能な限りの医療を一步ずつ、しかし着実に、志ある仲間たちとともに進めていきたい所存です。その結果、市民の皆様から信頼され、皆様の健康に寄与でき、少しでも皆様の笑顔に貢献できましたら幸いです。

至らぬところもあるかと存じますが、今後とも皆様方からの変わらぬ御指導御支援の程を宜しくお願い申し上げます。

循環器内科医長 宮田 和明

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
内科（入院患者数）	2,567（人）	8,126（人）	10,430（人）
内科（外来患者数）	17,765（人）	16,498（人）	15,931（人）
循環器内科（入院患者数）	0（人）	362（人）	2,045（人）
循環器内科（外来患者数）	1,384（人）	3,415（人）	4,216（人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
心電図	5,010（件）	6,280（件）	7,132（件）
心エコー	796（件）	1,250（件）	1,597（件）
ホルター心電図	66（件）	123（件）	157（件）

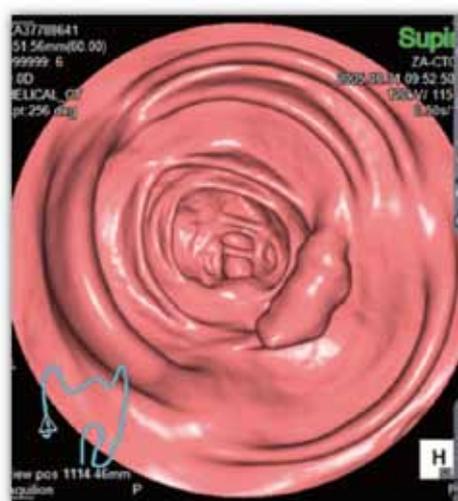
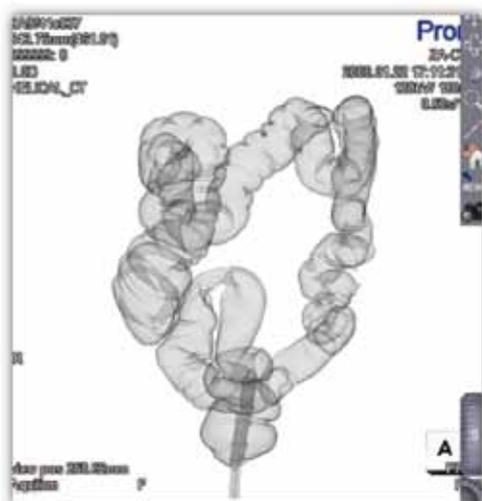
生活習慣の欧米化に伴って、大腸がんは年々増加の傾向にあります。最新の統計では、部位別のがん死亡数において、男性では肺がん・胃がんに次いで3位、女性では1位となっています。現在、大腸がん検診として便潜血検査が広く行われていますが、この検査で異常と判定されても精密検査に来られない方が非常に多く、せっかくの早期発見の機会を逃してしまっていることが問題となっています。精密検査としては、通常、内視鏡検査（大腸カメラ）が行われますが、それなりに「しんどい」検査であるために、受診をためらわれる方が多いのではないかと想像します。

近年、CT検査で大腸の精密検査を行う方法が開発されました。当院でも一昨年9月より導入し、これまでに300人以上の方に検査を行ってきました。この検査では、前日に検査食と下剤を用いて大腸をきれいにし、当日は検査室内で肛門に細いチューブを入れ、炭酸ガスで大腸をふくらませてCTを撮影します。この検査の一番の特徴は、洗腸処置・検査自体とも、比較的楽に受けていただけることです。これまで精密検査を敬遠してこられた方にこそ、お勧めしたい検査です。

これまでの当院での経験では、大腸CT検査を受けられた方のうち、10%以上の方に切除した方が良いポリープが、約2%の方に大腸がんが見つかっています。当院の場合、ポリープは熟練した内視鏡専門医によりカメラで安全に切除できますし、大腸がんであってもほとんどは大きな開腹は必要なく、腹腔鏡により最小限の侵襲で切除可能です。

大腸がんは、早期に発見できれば十分に完治可能な病気です。そのためにも、便潜血検査で異常を指摘された場合には決して放置せず、かならず受診してください。当院では、この4月より消化器内科の医師が新たに赴任し、より充実した診療体制となります。また、放射線科ではクリニック・診療所の先生からの検査依頼も直接承っておりますので、普段かかりつけの先生にご相談されても大腸CT検査をご予約いただけます。

※ご質問・お問い合わせはこちらまで n-tanaka@iga-med.jp



栄養管理課だより

No.2

おすすめレシピ

鶏肉おろししょうゆ焼き

今回は「糖分・脂質控えめのメニュー」です。砂糖・みりんを抑え、皮なし鶏胸肉でも柔らかく食べられる工夫を交えた一品です。



材料(1人分)

鶏胸肉(皮なし)	80g(1枚)
大根	50g(2m)
玉ねぎ	30g(1/6個)
青ねぎ	10g(1/5本)
おろし生姜	2g(小さじ2/5)
酒	3g(小さじ1/2強)
醤油	6g(小さじ1)
みりん	3g(小さじ1/2)
レモン汁	1g(小さじ1/5)

作り方

1. 鶏肉は繊維を断ち切るように斜め削ぎ切りにする。
2. 玉ねぎ・大根はすりおろし、1と調味料と混ぜ合わせ、30分程度漬け込む。
3. 2をすべてフライパンに入れ、蓋で覆って蒸し焼きにする。
4. 火が通れば、小口切りにした青ねぎをちらす。

(一人分:エネルギー125kcal、たんぱく質19.0g、脂質1.3g、塩分1g)

栄養指導ご希望の方は、お気軽にご相談ください。

花粉症の薬 Q&A

薬剤部 越智 麻有

Q.妊娠中の花粉症の治療はどうすればよいですか？

- A. 妊娠中はアレルギー性鼻炎の症状が悪化することがありますが、胎児への影響を考慮して、妊娠4か月半くらいまでは原則として薬を用いるのを避けたほうが安全です。
鼻への温熱療法、入浴、蒸しタオル、マスクによる薬を使わない方法もあります。
医師や薬剤師に相談するようにしましょう。

Q.症状が軽くなったら、薬は服用しなくてもよいですか？

- A. 花粉症の症状は花粉の飛散量によって変わります。飛散量の少ない日(雨の日など)の症状は楽になりますが、ここで薬の服用を止めてしまうと、次の大量飛散時に一気に症状が悪化することがあります。症状が軽くなっても、医師の指示があるまでは続けるようにしましょう。

Q.花粉症の薬は風邪薬と併用してもよいですか？

- A. 風邪薬の成分には、花粉症の薬として使用される抗ヒスタミン薬や、血管収縮薬などが含まれていることがあります。併用すると血中濃度が上がってしまい、副作用が出やすくなってしまふ恐れがあるため、医師や薬剤師へ相談するようにしましょう。



院内託児所

『バンビ』を紹介します

院内託児所が開設されて今年で9回目の春を迎えます。これまでたくさんの子供達が『バンビ』から巣立ち、働くお母さん達の助けとなってきました。

現在『バンビ』には1日当たり約10名の子供達が利用しています。季節の行事や遊びにふれながら毎日を楽しく過ごしています。当院で働くスタッフのお子さん(生後約2か月から4歳児まで)ならあなたでも利用できます。仕事と子育ての両立を目指す、強い味方です!!



伊賀市立上野総合市民病院 外来診療表 (平成27年4月1日～)

【受付時間】午前8時30分～11時30分まで ※受付時間の異なる診療科があります()内をご参照ください。

※脳神経外科、神経内科、心臓血管外来(完全予約制)医師は医療機関からの紹介状が必要です。

※臨時に休診になる場合がありますので、事前に電話にてご確認ください。

電話 0595-24-1111(代)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科	総合診療外来	橋本 浩	三木 誓雄 (8:30～16:30) 多田 博胤 (13:00～16:30)	田中 基幹	三木 誓雄 (寝たきり予防外来)	三木 誓雄 (8:30～16:30) 田中 基幹
	一般内科外来		浜島 信之		菱田 朝陽 (13:00～15:00)	
	消化器・肝臓内科	足立 幸彦		谷村 雄志・松本 泰司 津久田 諭 の交代	足立 幸彦 (13:00～15:30 第4のみ～14:30)	
		八尾 隆治	光山 俊行	斉藤 康晴	斉藤 康晴	光山 俊行
	炎症性腸疾患外来 (第2月曜日)	安藤 朗				
	ピロリ除菌外来(予約制) 予防接種外来(予約制)				菱田 朝陽 (15:00～16:00)	
	腫瘍内科	田中 基幹		田中 基幹	井上 靖浩 田中 光司 (13:00～15:00)	田中 基幹
	循環器内科	宮田 和明 (9:15～11:30)	八木 典章 (9:00～11:30)	宮田 和明 (9:15～11:30)	松本 祐一 (9:00～11:30)	山本 孝 (9:30～11:30)
		堀江 稔 (13:30～15:30)				
	不整脈専門外来 (最終月曜日)					
	ペースメーカー外来 (予約制)(第3木曜日)				宮田 和明 (13:00～15:00)	
	心臓血管外来			坂倉 玲欧 (10:00～12:00) 矢田 公 (13:00～15:00) 4/8,22 5/13,23 (完全予約制)	新保 秀人 (15:00～16:30) 4/23 5/21 (完全予約制)	
	腎臓内科/呼吸器内科		清水 浩一(腎臓) (13:00～15:30)		五十嵐知之 (呼吸器)	
	神経内科			朝日 理 (予約のみ)		
もの忘れ外来 (予約制)				多田 博胤 (13:00～15:30)	赤津 裕康 (14:00～16:00) 4/24 5/29	
ペインクリニック内科 (第1, 3, 5火曜日)		横地 歩 (15:00～16:30)				
小児科			橋本 浩	橋本 浩	橋本 浩	橋本 浩
小児外科(第4火曜日)			内田 恵一 (13:00～16:00)			
外科	初診	浦田 久志		濱口 哲也		寺邊 政宏
		寺邊 政宏 濱口 哲也		森本 雄貴	千賀 雅之	浦田 久志 西川 隆太郎
	再診	櫻井 洋至 (9:30～11:30)				
	肝胆膵疾患外来	森本 雄貴	三木 誓雄			三木 誓雄
	大腸肛門病センター		寺邊 政宏 (15:00～17:00)			
緩和ケア外来(完全予約制)						
ヘルニア外来(鼠径)				濱口 哲也 (13:00～15:00)		
脳神経外科(予約制)			中塚 慶徳 (10:30～13:00)			
整形外科	I 診	佐藤 昌良	佐藤 昌良	宮本 憲 (15:00～16:30)		山口 敏郎
	II 診	山口 敏郎	山口 敏郎			宮本 憲
泌尿器科		田中 基幹		神田 英輝		田中 基幹
婦人科 (第2・4水曜日のみ2診)	I 診	和田 俊一	和田 俊一	和田 俊一	和田 俊一	和田 俊一
	II 診			田畑 務 (9:30～11:30)		
耳鼻咽喉科		竹内 万彦				
皮膚科					横山 智哉 (9:00～11:00)	
眼科			布目 貴康 (9:30～11:00)			